

政策目標1 未来につなぐひとづくり/政策2 生涯にわたる学びと活躍の推進

政策分野8 男女共同参画

目指す姿	
性別にかかわらず、多様性を尊重し、一人ひとりがその個性や能力を十分に発揮することができるまち	
施策	
施策番号	名称 施策の内容
施策1	男女共同参画社会の実現に向けた環境整備  男女が、互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性や能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、意識づくりや社会環境づくりに取り組めます。

1 政策分野の進捗状況

重要業績評価指標の達成状況						
指標名				単位	説明又は計算式	
1	男女共同参画推進事業者表彰を受けた事業者数（累計）				事業者	男女ともに働きやすい環境づくりを進める事業者を表彰
	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標	検証
	目標	51	54	57	60	近年、表彰事業者実績が目標に対して少ない理由として、新型コロナウイルス感染症の影響により応募に至らなかった事業者もあると考えられる。優良事例の紹介を通じて伝えることにより、表彰事業者を増やしていく。
	実績	48	51（見込）	—		
2	市の審議会等における女性委員の割合				%	市の審議会等の附属機関における女性委員数/委員総数
	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標	検証
	目標	30	30	30	30	女性の人材育成の取組や女性人材リスト等の活用により、政策・方針決定過程への女性の参画が増えてきているものの、令和6年度もわずかに目標値を達成できなかった。宛職の多くが男性であることが達成できなかった理由として考えられる。
	実績	29.6	29.8	—		

2 施策の評価

施策1	男女共同参画社会の実現に向けた環境整備
今年度の重点方針(方向性)	<p>男女が、互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性や能力を十分発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、意識づくりや社会環境づくりに取り組む。</p>
取組状況	<p>【1】男女共同参画推進プランの推進 ・第6次市男女共同参画推進プランを策定し、各施策・事業の実施により、男女共同参画の意識の浸透を図っている。</p> <p>【2】男女共同参画に関する学習機会の充実 ・子ども人生講座、男女平等に関する作文コンクール、男女共同参画に関する出前講座等を実施し、学校教育・生涯学習において男女共同参画意識の醸成を図っている。</p> <p>【3】ワーク・ライフ・バランスの推進 ・男女共同参画推進事業者表彰や表彰事業者の取組紹介などにより、男女がともに働きやすい職場環境づくりを推進している。</p> <p>【4】政策・方針決定過程への女性の参画拡大 ・エンパワーメント講座を実施し女性の人材育成に取り組んでいる。また、市政や地域貢献に関心のある女性の人材情報をまとめた「女性人材リスト」への登録と活用を呼びかけ、市の政策・方針決定過程の場への女性登用の機会拡充を図っている。</p> <p>【5】男女共同参画への理解促進 ・市のホームページや市政だよりなど、分かりやすい広報・啓発活動に取り組んでいる。また、会津図書館内に男女共同参画コーナーを開設し図書館利用者への分かりやすい情報発信を行っている。 ・令和4年度に実施した男女共同参画に関する意識調査の結果を公表し、市民意識の啓発を図った。</p>
課題認識と今後の方針・改善点	<p>本市における人口減少問題については様々な要因が考えられるが、その要因の中にジェンダー格差があると認識している。ジェンダー格差を是正し、男女共同参画社会を実現するために、「第6次市男女共同参画推進プラン」に基づき、各施策に取り組む。</p> <p>【1】男女共同参画推進プランの推進 ・男女共同参画推進状況について、施策の主な指標及び主な実施事業の取組検証と今後の方向性について取りまとめ、適切な進行管理に取り組んでいく。</p> <p>【2】男女共同参画に関する学習機会の充実 ・子どもの頃からの意識の醸成は重要であることから、子ども人生講座や男女平等に関する作文コンクールを継続して実施する。</p> <p>【3】ワーク・ライフ・バランスの推進 ・仕事と生活の両立支援やワーク・ライフ・バランスの充実が進むよう、関係機関とともに事業者への啓発や一人ひとりの意識改革へ向けた取組を進める。特に、先進的に取り組む企業の優良事例について、他の企業の参考になるような紹介の仕方を検討し、ホームページを活用した情報提供などに取り組む。</p> <p>【4】政策・方針決定過程への女性の参画拡大 ・市の審議会等における女性委員の割合向上のため、各部局への積極的な情報提供や協力要請を行いながら、「女性人材リスト」の更なる活用を図る。また、女性活躍の場の一つである「起業」に焦点をあて、社会やビジネスの場でのリーダーシップ・ネットワークづくりに向けたセミナー等を開催し、経済の分野での学びをとおして、エンパワーメントの強化を図る取組について検討していく。</p> <p>【5】男女共同参画への理解促進 ・平成12年に県内初の「男女共同参画都市宣言」を行ってから25周年を迎える節目に、市民団体との協働による記念事業を実施し、男女共同参画の意識づくりや理解促進に取り組んでいく。</p>

3 関連する政策分野と事務事業

政策分野	事務事業名	担当部・課名

4 施策の最終評価

- ・政策分野8「男女共同参画」の推進にあたっては、「2 施策の評価」に従い取り組むこと。
- ・施策1「男女共同参画社会の実現に向けた環境整備」については、ワークライフバランスを推進するため、先進企業の優良事例を積極的に情報発信していく。また、女性活躍の場の一つである「起業」に焦点をあてたセミナー等を開催し、女性参画の拡大に向けて取り組んでいく。

5 事務事業一覧

番号	ロジックモデル	重点事業	人口減少対策※	SDGsターゲット	事務事業名	次年度方針	担当部・課
施策1 男女共同参画社会の実現に向けた環境整備							
1		◎	基本目標4	5.1	男女共同参画推進事業（男女共同参画推進プランの推進）	継続	企画政策部 協働・男女参画室
2		◎	基本目標4	4.7	男女共同参画推進事業（男女共同参画に関する学習機会の充実）	継続	企画政策部 協働・男女参画室
3		◎	基本目標4	5.1	男女共同参画推進事業（ワーク・ライフ・バランスの推進）	継続	企画政策部 協働・男女参画室
4		◎	基本目標4	5.5	男女共同参画推進事業（政策・方針決定過程への女性の参画拡大）	継続	企画政策部 協働・男女参画室
5		◎	基本目標4	5.1	男女共同参画推進事業（男女共同参画への理解促進）	継続	企画政策部 協働・男女参画室
6		◎	基本目標4	5.1	男女共同参画推進事業（地域活動における男女共同参画の環境づくり）	継続	企画政策部 協働・男女参画室

※人口減少対策に資する事業を「第3期 会津若松市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの基本目標に位置付けた取組を記載しています。

- 基本目標1 既存産業・資源を活用した魅力的なしごとづくり
- 基本目標2 地域の個性を活かした新たな人の流れの創出
- 基本目標3 生活の利便性を実感できる安全・安心なまちづくり
- 基本目標4 結婚・出産・子育て支援と教育環境の整備

施策1 男女共同参画社会の実現に向けた環境整備

1	事業名	男女共同参画推進事業（男女共同参画推進プランの推進）	法定／自主	自主	
	担当部・課	企画政策部 協働・男女参画室	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	性別にかかわらず、多様性を尊重し、一人ひとりがその個性と能力を充分発揮できるまちを目指し、男女共同参画推進プランに基づき、各施策・事業を計画的に推進する。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	299	279
			所要一般財源	299	279
概算人件費			777	830	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	市民意識調査・ワークショップ等を実施し、第6次市男女共同参画推進プラン（計画期間：令和6年4月～令和10年3月）を策定した。また、プランの一部を女性活躍推進法に基づく市町村推進計画として位置づけるとともに、配偶者暴力防止法に基づく市町村基本計画として位置付けた。各施策・事業の実施により、男女共同参画社会の実現について、徐々にではあるが、家事・育児における男性の参画や女性活躍といった男女共同参画の意識の浸透が図られている。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	男女共同参画推進状況について、施策の主な指標及び主な実施事業の取組検証と今後の方向性等について取りまとめ、男女共同参画行政連絡会議及び男女共同参画審議会へ報告し、適切な進行管理に取り組んでいく。				
2	事業名	男女共同参画推進事業（男女共同参画に関する学習機会の充実）	法定／自主	自主	
	担当部・課	企画政策部 協働・男女参画室	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	学校教育や生涯学習などでの学習機会の充実を図るとともに、人権尊重や男女平等の意識の醸成を図り、誰もが性別にとらわれずいきいきと生きることのできる社会を目指す。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	428	428
			所要一般財源	428	428
概算人件費			1,554	1,660	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	子ども人生講座により男女平等の意識の醸成が図られていることはもとより、多様性の尊重や自分らしい生き方などについても考える機会となっている。また、男女平等に関する作文コンクールにより子どもたちが男女平等や性別にかかわらず自分らしく表現できる社会について、感じたことや気付いたことを文章にするという過程を通して、改めて深く考える機会となっている。さらに、男女共同参画に関する出前講座では、身近なテーマを基に男女共同参画の理解を促進した。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	人権や男女平等といった普遍的な価値観の理解には、人格や価値観、人生観などが形成される子どもの時期の教育が重要である。また、子どもたちだけでなく多くの人が男女共同参画の考え方を理解するためには、学習機会の充実が重要である。次代を担う子どもたちへの意識づくりに重点を置き、「子ども人生講座」や「男女平等に関する作文コンクール」を実施するほか、生涯学習出前講座を実施し、学校教育・生涯学習において男女共同参画意識の醸成を図る。				
3	事業名	男女共同参画推進事業（ワーク・ライフ・バランスの推進）	法定／自主	自主	
	担当部・課	企画政策部 協働・男女参画室	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	各事業所内におけるワーク・ライフ・バランスの推進や男女がともに、働きやすい環境づくりを推進する。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	91	146
			所要一般財源	91	146
概算人件費			1,554	1,660	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	平成16年度から男女共同参画推進事業者表彰を実施し、令和5年度は、新たに3事業者を表彰、表彰事業者は累計で48事業者になった。表彰事業者の取組を市政だよりや市のホームページなどに掲載し、他事業者への取組の普及を図った。表彰事業者のフォローアップを兼ねた交流会を開催し男女がともに働きやすい職場環境づくりについて意見交換を行い、さらに取組を進めるきっかけづくりとした。また、男性の家事・育児への参加を促すための男性むけ料理教室など講座を開催した。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	男女共同参画推進事業者表彰受賞者の取組紹介やフォローアップなど、男女がともに働きやすい職場環境づくりを推進する。また、ワーク・ライフ・バランスの充実が進むよう、関係機関とともに事業者への啓発や一人ひとりの意識改革へ向けた取組を進めていく。特に、先進的に取り組む企業の優良事例について、他の企業の参考になるような紹介の仕方を検討し、ホームページを活用した情報提供などに取り組む。				

4	事業名	男女共同参画推進事業（政策・方針決定過程への女性の参画拡大）		法定／自主	自主
	担当部・課	企画政策部 協働・男女参画室		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	エンパワーメント講座の開催や女性人材リストの活用により、市の審議会等をはじめとする様々な分野への女性の参画を促進していく。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	241	1,241
			所要一般財源	241	491
概算人件費			1,554	1,660	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	女性が市政や地域などの様々な場へ積極的に参画できる能力を高めるためのエンパワーメント講座を開催してきた。また、本市の審議会委員の選出や各種ワークショップメンバー募集などに際し、女性の参画促進のため、市政や地域貢献に関心のある女性の人材情報を蓄積した女性人材リストを積極的に活用している。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	今後、委員会・審議会等における女性委員の割合向上のため、各部局への積極的な情報提供や協力要請を行いながら、「女性人材リスト」の更なる活用を図る。また、女性活躍の場の一つである「起業」に焦点をあて、社会やビジネスの場でのリーダーシップ・ネットワークづくりに向けたセミナー等を開催し、経済の分野での学びをとおして、エンパワーメントの強化を図る取組について検討していく。				
5	事業名	男女共同参画推進事業（男女共同参画への理解促進）		法定／自主	自主
	担当部・課	企画政策部 協働・男女参画室		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	男女共同参画への理解を深め、それぞれが主体的に意識を持ってそれらを実践できるよう、効果的な広報・啓発活動を推進する。 男女共同参画の推進に必要な調査等を実施し、本市の現状や課題を把握して施策に反映させる。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	576	55
			所要一般財源	576	55
概算人件費			2,331	1,660	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	市のホームページや市政だよりなど、多様な媒体を活用し、分かりやすい広報・啓発活動に取り組んできた。また、会津図書館内に男女共同参画コーナーを開設し図書館利用者への分かりやすい情報発信を行っている。令和元年度には、男女共同参画都市宣言記念事業を市民団体等との共催で開催し、令和5年度には、令和4年度に実施した男女共同参画に関する意識調査の結果を公表し、市民理解の促進と意識啓発を図った。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	性別による固定的な役割分担意識が様々な場面に存在していることから、その意識の解消が課題である。市政だよりやホームページ等を活用し男女共同参画に関する情報を広く発信する。また、平成12年に県内初の「男女共同参画都市宣言」を行ってから25周年を迎える節目に、市民団体との協働による記念事業を実施することを通じて、市民意識の啓発を図る。				
6	事業名	男女共同参画推進事業（地域活動における男女共同参画の環境づくり）		法定／自主	自主
	担当部・課	企画政策部 協働・男女参画室		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	男女共同参画の理解促進や意識啓発のため、地域で活動する市民団体や個人等を支援する。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	194	194
			所要一般財源	194	194
概算人件費			777	849	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	各町内会へ地域で活躍する女性区長を紹介するチラシを送付し、自治会の役職等を性別で固定しない意識の啓発を行った。また、男女共同参画推進活動ネットワーク加入団体会議を開催し、情報の共有や団体のコミュニケーションを図り、情報提供によりイベント参加の促進、団体の活性化を図った。令和6年度は加入団体による合同事業を実施し、団体間の連携を深めた。さらに、男女共同参画社会づくり推進活動支援補助金を交付し、研修や啓発活動を展開する市民団体や個人の活動を支援した。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	男女共同参画社会の推進には、行政による取組だけでなく、地域活動を行う市民団体や個人とともに取り組んでいく必要がある。 市民団体で構成される「男女共同参画推進活動ネットワーク」の充実、「男女共同参画社会づくり推進活動支援補助金」を活用した研修や啓発活動の促進を図る。 引き続き、地域活動や町内会活動へも、性別にとらわれず、積極的に参加・参画できるように、男女共同参画意識の啓発を図る。				